



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 永 井 正 美
幹 事 西 澤 吉 樹 会 報 委 員 長 村 上 武 史

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2176

2014-3-28

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長 ロン D. パートン

本日の例会 3月28日(第4例会)

- 卓話 「時の過ぎゆくままに」
ロータリーの思い出を中心に45周年記念式典にむけて
岡倉三郎会員
- クラブ協議会 13:40～15:30
シェラトン都ホテル大阪 3階 三笠の間

次週のお知らせ 4月4日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
- お祝・誕生日 結婚記念日
入会記念日 会社創立記念日
- 卓話 「ロータリーの友について」
ロータリーの友についての情報をお伝えできればと思います。
山本英樹雑誌・広報委員長
- 理事会 11:30～12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 クローク横
- 食膳 〈日本料理 花見弁当〉

次々週のお知らせ 4月11日(第2例会)

- 卓話 「新会員自己紹介」
米田昭正会員

先々週の記録 3月14日(第2例会)

- 出席報告
出席会員 42名 (内免除会員 12名)
会員総数 51名 (同上 18名)
ゲスト 1名
ビジター 1名
計 44名
ホームクラブ出席率 89.36%
2月28日(第4例会) 補正出席率 91.67% (MU5名)
- ゲスト&ビジター(敬称略)
上田 豊(大阪南)
オズカン・ミュゲ(米山奨学生)

◆ 会長の時間 ◆

「お彼岸」

今年も東大寺二月堂修二会(お水取り・お松明)が一昨日12日深夜行われ、来週18日は彼岸の入りで「暑さ寒さも彼岸まで」と、やっと厳しかった今年の寒さともお別れです。

昔から国民的行事にもなっている「彼岸」とは、文字通り向こう岸の事。サンスクリット語「パーラミータ」の漢訳「到彼岸」を略したもので、私共が住む迷い多き娑婆世界・此岸から、煩

悩の川を渡り到達する涅槃の仏の世界をいいます。その到達する道としてお釈迦様は、六波羅蜜の教えを説いておられます。太陽が真東から昇り、真西に沈むこの時節に仏様のお徳をたたえ、各寺院では彼岸会という法事が勤められています。
合 掌

◆ 委員会報告 ◆

①「ロータリーの友」3月号の紹介
雑誌・広報委員 鈴木良造

3月は識字率向上月間です。
●「R1 会長メッセージ」(横組P.3)
「世界の子どもに識字力を与える」と題して
1)読み書きの大切さを再認識
2)ロータリアンが手助け
3) 私たちの活動を祝う

世界には何百万人も恵まれない子どもたちがいる。私たちは基本的教育と識字率向上をロータリーの奉仕の優先事項としている。

子どもの識字率向上に対する支援がどんな素晴らしい贈り物かを、改めて考えてみましょう。

●「すべての人に識字能力を」(横組P.13～14)
「基本的教育と識字率向上」に関するロータリー財団の基本方針を紹介しています。

●「ようこそシドニーへ」(横組P.26～29)
6月1日から開催されるRI国際大会に対して、駐日オーストラリア大使が詳しく案内されています。

●「はやぶさが挑んだ人類初の往復宇宙旅行 その7年間の歩み」(縦組P.4～8)

小惑星探査機はやぶさのプロジェクトマネージャー 川口氏の「製造の国から創造の国へ」挑戦談。

②「春の家族会及び職場見学のご案内」
職業奉仕委員長 内藤喬皓

日 時：2014年4月27日(日)17時30分
集合場所：あべのハルカス内 大阪 Marriott 都ホテル
20階あかねの間

多数のご参加をお願いします。

③「ゴルフコンペのご案内」
ゴルフ同好会キャプテン 岩永健保

5月24日、芦屋カンツリークラブにて本年度3回目(最終)のゴルフコンペを開催しますので、多数のご参加をお願い致します。

◆ 幹事報告 ◆

- 地区より2014～2015年度地区補助金申請についての説明書が届きましたので関係各委員に回覧しました。
- 地区より第2回クラブ社会奉仕委員長会議の案内が届きましたので、岡部社会奉仕委員長・中尾次年度社会奉仕委員長に回覧しました。

3月は識字率向上月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

- 本日例会終了後、13時40分よりクローク横待合にて45周年事業委員会が開催されますので関係者の方はご参集下さい。

卓話

3月14日 <第2例会>

「地区米山奨学委員会報告」

地区米山奨学委員長 西谷雅之

1月19日に米山奨学委員会の最も重要な仕事である新規奨学生の面接選考試験を行い25名を採用し受入クラブを決定しました。受入希望は40クラブ以上、対する学生は25名と今更ながら委員会として寄付増進の重要性を実感しました。3月2日には今期24名の奨学生に対し終了式と祝宴を行いました。

「奨学金・学友・R平和フェロースHIP担当グループ報告」

奨学金・学友・R平和フェロースHIP担当グループ委員長 梅崎道夫

私は、地区では奨学金・学友・平和フェロースHIP担当グループのグループリーダーを務めています。主な仕事はグローバル補助金を使った奨学生の選抜と財団への申請手続き、奨学生へのオリエンテーションになります。

グローバル補助金というのは、「ロータリーの6つの重点分野」にマッチしなければなりません。6つの重点分野というのは1.平和と紛争予防・解決 2.疾病予防と治療 3.水と衛生 4.母子の健康 5.基礎教育と識字率向上 6.経済開発と地域開発です。

さて、グローバル補助金による奨学金制度ですが、当然にさきほど述べましたように、ロータリーの6つの重点分野に合致した目的で留学しなければなりません。

昨年の秋に合格した候補者のひとは、現在京都の同志社小学校で英語教員をされていて、カナダのトロント大学の大学院で教育分野の留学を希望されています。彼女の将来の希望は、アフリカなどの教育環境の悪い地域で、恵まれない子供達のための小学校を建設し、そこで教育活動をするということでした。これは、識字率の向上に貢献したいということですので、これからロータリー財団に申請するところですが、おそらく大丈夫だろうと思います。

地区補助金もグローバル補助金も、元はといえばすべて私たち2660地区のロータリアンの拠出した寄附金です。ですからできるだけ有効に活用すべきだと思います。

クラブとしては、地区補助金を活用した奉仕活動もいいでしょうし、香港、台湾の姉妹クラブとの共同プロジェクトで規模の大きい国際的奉仕活動にグローバル補助金を活用することも考えられます。どうぞ社会奉仕委員会、国際奉仕委員会に属する会員の皆様は積極的に補助金を活用して行う奉仕プロジェクトを提案して頂きたいと思います。

「地区災害支援プロジェクト委員会について」

地区災害支援プロジェクト委員会委員 渡邊邦雄

地区災害支援プロジェクト委員会の概要及び活動状況を少々ご報告させていただきます。

1. 概要

今年の委員会は、高島PGを委員長に、泉EGと茨木西RC宮里さんが副委員長および7人の委員を加えて総勢10人です。当初は皆様もご存じの通り、この委員会は東日本大震災被害に対して松本PGのもと地区内会員1万円の寄附金を集めましたが、全国ガバナー会での意見統一が叶わず当クラブ岡部PGの時にクラブ独自で被災地支援を行う

クラブと、他方、当委員会に活動を任せていただいて、地区主導等により各クラブの支援活動をサポートする体制に賛同するクラブとに分かれました。当クラブは後者を選択し当クラブ会員各位のご支援を賜り素晴らしい成果を上げることが出来ました。

しかるに、熱さのど元過ぎれば何とやら、ここに至っては、その熱も冷め地区全体の寄附金は細り、活動も停滞気味です。

次年度から「プロジェクト」の名称を削除する案、地区国際奉仕委員会、社会奉仕委員会に参画してもらい、災害支援委員会の規模、活動を見直す方向の案等が議論されていますが、それらが決定されるまでは少し時間が必要です。

2. 今年度の活動状況

① インド北部大洪水支援

8クラブより総額276,200円の寄付があり、日本赤十字社を通じて寄附。

② フィリピン災害支援

地区各クラブより総額5,419,000円の寄附金が集まりましたので、3860地区ガバナーに寄附をしました。

③ 地区基金

本年度地区基金は1クラブ50,000円もしくは1人あたり2,000円の寄附金をお願いしています。

3. 次年度の活動予定

次年度の活動予定は、地区国際奉仕、社会奉仕委員会との活動の棲み分けを行うことから規模および活動の縮小が考えられています。

以上、簡単に地区災害プロジェクト委員会の活動報告いたします。

「危機管理委員会について」

危機管理委員会委員 小林正啓

2660地区危機管理委員会は、2012-2013年度において、一応の危機管理規定を策定しましたが、本年度は、岡部泰鑑委員長のもと、保険契約締結可能な危機管理規定の策定を目指しています。すでに、青少年活動委員会は、RYLA及び少年少女ニコニコキャンプを実施するにあたり性的虐待及びハラスメント防止のための研修を実施しています。また、インターアクト委員会は、「危機管理(虐待とハラスメント(嫌がらせ)予防を含む)に関する地区及びクラブの方針」と「性的虐待及びハラスメントの申し立て、報告に関する指針」を策定し、参加ボランティアに誓約書を提出させています。2月18日に行われた小委員会議事録メモによると、危機管理委員会と地区との関係や、ガバナーとの関係、危機管理委員会の権限が議論されました。

にこにこ箱

3月14日(第2例会)

- 孫の大学受験 早々に桜の花咲く 内祝
岡倉会員
- ホールインワンおめでとうございます。記録をのばして下さい。
岡部(泰)会員
- 今井さん、校正ミス申し訳ありませんでした。
村上(武)会員

(編集担当 宇津井・濱田)

会員増強にご協力を!!